

子供たちも職員も、笑顔になれる、元気な学校

学校だより
第6号



URL : <http://www.menuuma-nagai-e.ed.jp>
Email : nagai-kyo@tenor.ocn.ne.jp

【学校教育目標】
確かな学力を身に付け、
心豊かにたくましい長井っ子の育成
◎考える子
◎明るい子
◎たくましい子
令和5年9月27日
熊谷市立長井小学校

限界突破 優勝めざして 心をもやせ！！

校長 大塩 正

新型コロナ第9波への警戒感が高まる中、季節外れのインフルエンザに感染する例が相次いでおり、本校でも学級閉鎖が行われました。引き続き、児童には、手洗いやうがい、換気等の感染症対策を講じながら学校生活を送らせていきたいと考えています。

一方、校長室から見える校庭では、9月30日（土）に行われる運動会の練習真っ盛りです。毎日、子供たちの元気な声が響いてきます。子供たちも先生方も活気があり、学校全体が活気に満ち溢れています。

表題の「限界突破 優勝めざして 心をもやせ !!」は、児童会役員が中心となって決めた今年度の運動会のスローガンです。

「限界」の意味は、辞書によると、「物事のこれ以上、あるいはこれより外には出られないというぎりの範囲、境、限り。」と書かれており、例文として、「広葉樹分布の北の限界」「能力の限界を知る」「体力の限界に挑戦する」等がありました。ですので、「限界を突破する」という言葉の使い方は、少し違和感を感じる人がいるかもしれません。「限界なんだから、そこは突破できないんじゃないか。」とか「限界を突破したのであれば、それは限界じゃなかったんじゃないか。」という声が聞こえてきそうです。

学校教育の現場に長く携わってきた私は、子供たちが自分自身で自分の殻を破り、限界を突破する場面を数多く見てきました。「以前は、限界（無理）だと思っていたけど、いつの間にか限界ではなくなっていた。」「限界（無理）だと思っていたが、限界じゃなかった。」そんな子供たちの声を聞いてきました。

やってみないと分からないから、自分で限界を決めるのは良くないかもしれません。以前は、「限界」と思ってきたことが「当たり前（習慣や慣れ）」になり、限界の基準は、やればやるだけ、上がり続けます。自分の中で「無理」だと信じてきたことが自分の勝手な思い込みだと気付くのです。

だからこそ挑戦することは大事で、今まで自分がしたことのない事や方法で、自分が何をできるかを考えたらよいと思います。できると思ったことは、「大抵の事は、できる」「やればできる」のです。

私が小学生の時に夢中になった「ドラえもん」では、秘密の道具として様々なものがドラえもんのポケットから出てきました。例えば「糸なし糸電話・・・互いにこれを持っていれば、話をする事ができる」「ほんやくコンニャク・・・コンニャクを食べると、どんな言葉でも通じるようになる」「観光ビジョン・・・緯度と経度を合わせると、地球上のどこの景色でも周りに映し出してくれる」等です。小学生だった私は、「そんな夢のような物ができれば良いな。」と思っていましたが、まさか現実になるとは思ってもいませんでした。今では、スマホの中に翻訳機能もストリートビュー等の地図アプリも当たり前のように入っています。「無理」だと信じてきたことが自分の勝手な思い込みだったことが今になって気付いたのです。

予測のつかない社会を生き抜いていかななくてはならない子供たち、未来を生きる子供たちの今後の人生は、山あり、谷ありです。今まで以上に社会の急速な変化に対応しなくてはなりません。チャットGTPに代表されるような生成AI（人工知能）とも共存していかななくてはなりません。コンピュータが得意なことはコンピュータに任せて使いこなせるようにすることと、コンピュータが苦手な分野を自分自身の強みにしていかななくてはなりません。人間が得意なことは、例えば、細かな配慮をしたり、繊細な変化を察知したりする臨機応変な対応、人の感情をくみ取ること等のコミュニケーション能力や、人を感動させたり、感情を揺さぶったりする発想力や創造力が大きな武器になっていきます。

しかしコミュニケーション能力や発想力や創造力は、一朝一夕に身に付けられるものではありません。その基礎、土台となる「知・徳・体のバランスのとれた力」を子供たちに学校で身に付けさせる事が大切であると考えています。学校は、集団生活の場です。いろいろな考え方や性格の人がいます。そこから発想力や創造力の礎が生まれるかもしれません。子供たちは、学校生活の中で、意見がぶつかり嫌な思いをしても折り合いをつける能力、コミュニケーション能力をつけていきます。だからこそ学校は、社会に出る前に失敗したり迷ったりしながら学ぶ場であり、いろいろな人の考え方に触れながら学ぶ場であり、その喜びが味わえる場であると思います。

そして日々、子供たちが「心をもやせる」よう、本校教職員全員で、子供たちをバランス良く「徹底的にかまって」育てていきたいと考えております。

保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



全国学力・学習状況調査と埼玉県学力・学習状況調査の結果

10月は1年間の折り返しの月です。
この半年間の子供たちの様子ですが、学力・体力ともに次のような成果を残す事ができました。
・「全国学力・学習状況調査（6年生対象）」、「埼玉県学力・学習状況調査（4.5.6年生対象）」の結果は、4.5年生は、埼玉県の平均点をほぼ上回りました。6年生は、埼玉県の平均点を大きく上回ることができました。
・「新体力テスト」の結果も、前年度の埼玉県の平均を上回る種目がほとんどでした。
今後とも保護者の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

1年生、木曜日の下校時刻の変更について

9月20日付け文書でもお知らせいたしましたが、授業の質をより高めていくために、教職員の業務量の見直しと削減、効率化を図っていきたく考えています。

そして教職員と子供たちが向き合う時間の確保などにより、子供たちの学習活動の更なる充実を図っていきます。

つきましては、後期より下記のように教育課程の見直しを行います。

1年生の木曜日の日課について

前期（10月19日）まで 5時間授業 14時30分下校
後期（10月26日）より 4時間授業 13時30分下校

9月の子供たち



運動会応援練習



運動会応援練習



5・6年運動会練習



1・2年運動会練習



運動会練習リレー



3・4年運動会練習

10月の主な行事予定

| 日 | 曜 | 行事予定 |
|----|---|-----------------------|
| 1 | 日 | 運動会予備日 |
| 2 | 月 | くまなび⑧ 校内授業研究会 |
| 3 | 火 | 運動会予備日② 特日5 |
| 4 | 水 | 特日5 |
| 5 | 木 | 特日5 3年五家宝体験 校内授業研究会 |
| 6 | 金 | 振替休業日（9/30の分） |
| 7 | 土 | |
| 8 | 日 | |
| 9 | 月 | スポーツの日 |
| 10 | 火 | |
| 11 | 水 | 委員会 |
| 12 | 木 | 4年小児生活習慣病検診 さわやか調べ |
| 13 | 金 | 生徒指導訪問 |
| 14 | 土 | |
| 15 | 日 | |
| 16 | 月 | 特日5 |
| 17 | 火 | 特日5 英語専科指導教員来校 |
| 18 | 水 | 特日5 SC来校 |
| 19 | 木 | 前期終業式 特日3 一斉下校 ワックスがけ |
| 20 | 金 | 秋季休業日 |
| 21 | 土 | 秋季休業日 NCC和太鼓 |
| 22 | 日 | 秋季休業日 |
| 23 | 月 | 後期始業式 特日3 給食なし |
| 24 | 火 | 特日 給食開始 |
| 25 | 水 | 就学時健診 特日3 給食なし |
| 26 | 木 | 水曜日課 クラブ |
| 27 | 金 | |
| 28 | 土 | 市教育研究発表会（授業日） |
| 29 | 日 | |
| 30 | 月 | くまなび⑨ |
| 31 | 火 | 特日 学校体育指導訪問 |

11月の主な行事予定

- 1 (水) 学校公開日 学校運営協議会
- 2 (木) 振替休業日（10/28の振替）
- 6 (月) くまなび⑩
- 7 (火) 3年社会科見学
- 8 (水) 5年社会科見学
- 10 (金) 4年市内音楽会
- 13 (月) くまなび⑪ SC来校 一斉下校
- 15 (水) 委員会 SC来校
- 16 (木) 3年1組北部東地区音楽会
- 17 (金) 登校指導 4年和太鼓体験
- 18 (土) 資源回収 NCC吹き矢
- 20 (月) くまなび⑫
- 21 (火) ありがとう集会 英語専科指導教員来校
- 22 (水) クラブ
- 24 (金) 1・2年遠足
- 27 (月) くまなび⑬
- 28 (火) 5年箏体験
- 29 (水) 委員会
- 30 (木) さわやか調べ

